



2013.5.12 マリア祭

フルタイムとパートタイム

助任司祭 アントニー

5月26日の『カトリック新聞』に「キリスト者はフルタイムで働く」という教皇様フランシスコのメッセージが紹介されました。そこで「フルタイムで働くこととは何か」を改めて考えさせられました。

今一生懸命に働いて正社員になりたくてもなれない方がたくさんいることは皆さんもご存知のことだと思います。働くならフルタイムで働きたいというのが私たち人間の本质ではないでしょうか。しかしそれができないのはなんと悲しいことでしょうか。そう考えると私たちキリスト者はなんと幸いな人でしょうか。なぜなら私たちは常にフルタイムで働くことが出来る状態にいるからです。

正社員になりたい理由はほかにたくさんあります。例えば安定した給料や雇用期間、退職金や保険やボーナス等が保障されることです。そして何より人に必要とされていること、人に役立つことを実感できることが一番根本的な理由ではないでしょうか。

私たちキリスト者も同じように、キリスト者しか受けることの出来ない恩恵がたくさんあります。七つの秘跡がそうではないのでしょうか。一般の会社の正社員になるにはたくさん条件が求められますが、キリスト者になるにはただ一つの条件だけです。信仰です。キリストを信じるのが唯一の条件です。

様々なことが保障されている正社員にはそれにふさわしい責任と義務が求められることは言うまでもありません。同じようにたくさんさんの恩恵を受けているキリスト者もそれにふさわしい責任と義務が求められます。

何より私たちキリスト者を必要としている人がたくさんいることが私たちをフルタイムで働くよう奮い立たせる理由ではないでしょうか。

平日のミサ時刻：

月曜日・水曜日・木曜日・土曜日 午前7時
第3土曜日 午前10時30分 子供のミサ(マリア館)
火曜日 午後7時
金曜日 午前10時 初金曜日 午後7時
聖体礼拝： 土曜日 午後5時30分

主日のミサ時刻：

土曜日 午後2時30分
日曜日 午前8時・9時30分・午後6時
Sunday Mass in English 9:30 am
(at the Maria Kan Hall)
ベトナム語のミサ 第4日曜日 午後3時30分

初聖体おめでとうございます

2013年6月2日



テレサ 東 安南
 パウロ 岩下 想
 テレジア 大場 天濤沙
 SOOIN 京山 秀人
 トマス・アキノナス 瀨瀬 亮一
 カタリナ 高阪 凜花
 ザビエル 高阪 涼太郎

デービット ザングネ 茂哉
 HANA TSUJI KRAKOWIAK
 グレイス ボーベフ・ハンナ
 マリア 堀川 春菜
 クララ 山岡 花凜
 セシリア 芳賀 美月



ヨセフ館・納骨堂の起工式 (5月30日)



「香部屋から」

典礼委員長 新内飛鳥

全世界の教会が信仰年を祝っています。「人はパンだけで生きるものではない」これは、野村司教様が信仰年にあたって私たちのために選んでくださった名古屋教区の年間テーマです。有名な御言葉です。信者ではない人も知っています。この有名な聖句を私たちはどれほど深く心に刻んでいられるでしょうか。パンに象徴されるのは、食べ物よりもより豊かさや物質的な価値などです。ままならない日常生活を送っていると、ついついパンの誘惑に傾いてしまうのではないのでしょうか。修道生活に奉獻している兄弟姉妹には心苦しい面もありますが、私たち人間は弱さがありますから精神を律し続けて生きることが困難です。折に触れ御言葉や、神・イエス・聖霊とその技を象徴する芸術、人の心、そういったものに触れる中で影響を受けたり人間性を回復したりしてどうにか神の子として生きる努力を続けているのです。確かに日常生活の中で年がら年中、正しくあり続けることは厳しいことでもあります。メリハリ、心の緩慢があっても自然なことだと思いません。ただし、気をつけたいのは、

心の在り様を自然な弛緩に任せるのは相応しくないことだと思いのです。私たちは日曜日ごとに教会に集まりミサに参加します。仕事や生活の都合で毎週これないこともあり。また、居住場所の関係で南山教会には、たまにしか来れない人もいます。珍しいお客さんや久しぶりにあった人など、ミサが閉祭したらずぐにでも気持ちや伝えたり声をかけたい人はたくさんいます。ですがここは一つ堪えてください。まだ、聖堂の中にいることを自覚してわきまえてください。聖堂は日常生活の中であって非日常的な空間だからです。どこが非日常かというところでは、神との対話、神への賛美、秘跡の執行、こういった実に神聖な事柄が扱われる空間なのです。多くの人が集まる場所だと言ってもシアターやホールではないのです。シアターであれば上演時間以外は、むしろ賑やかに過ごすことでしょうか。ホールであれば何も気にせず、ざわざわ過ごすでしょう。しかし聖堂は違います。違わなくてはならないのです。ミサの前後に典礼奉仕者の打ち合わせに熱が入り、「どなたかが祈っていても」お構いなしに素の声でしゃべってしまうことがあります。これは配慮が足りないことです。香部屋を使いましょう。ミサ

が終わると玄関が混んでいるから、なかなか外に出られません。ついついしゃべってしまっています。私たちの気が緩んでいるからです。久しぶりの気があった人への心配りは外へ出るまで我慢しましょう。わかってくれるはずですよ。同じ主を賛美するために集まったのだから。堂内にいる時は、自分の気持ちではなく神様を中心に考えましょう。沈黙と静寂を護るようにしてください。図書館では静かにできるのに、教会で出来ないのはなぜですか？それは甘えです。神のよりは皆優しいからです。優しさを受けたのなら神に感謝しましょう。沈黙のうちにあなたの心をお捧げください。

四木会（しぼくかい）

毎月、ロザリオの祈り、病者のための祈りを唱え集会している四木会。この四月第百十回目を数える例会では、二〇一二年暮帰天のパウロ加藤迪春氏ほか四木会関係故人の追悼ミサをボクダン司祭司式により執り行った。教会の平和と愛のうちに共同祈願を行ない、のち、一同親交を深め神父様を囲み飲食を共にした。

この日のミサ朗読は、マルコによる福音、第16章15〜20。

中高生会 春の遠足

5月11日(土)、中高生会で春の遠足をしました。晴天ならパークキューなどを考えていましたが、雨天となり、陶磁器資料館(瀬戸市)で陶芸をしました。新中一、3名を含めて7名の参加がありました。みんなが真剣に作陶する姿に、感心しました。その後、元気な男の子5人は、アントニー神父様とボーリングに行きました。女の子2人は、わたしと瀬戸教会へ巡礼(?)に行きました。以上、手短かに報告します。

夏合宿は、7月23日(火)〜25日(木)中津川に行く予定です。申込み用紙は事務所にあります。たくさんの中高生の参加を待っています。



5月11日(土)中高生会 春の遠足(陶芸)



一致することが分かります。ですから、愛し合う人にとって死によっても破られない絆となっている愛は、完成させることによつて、完全な一致をもたらすものであると言えるわけです。

他者を愛するとは、自分自身を相手に献身すること、また、相手があるのまま受け入れることであるということイエスがご自分の生き方、特にご自分の死によつて教えてくださったのです。御父から常に生まれていく御子は、すべてを御父から受け入れて、ご自分のすべてを御父に与え、ご自分の存在を御父のための贈り物(賜物?)にされます。御父と御子の相互愛

は、聖霊というペルソナになるほど、完全なものであります。この意味で、聖霊は御父と御子の相互愛の実りであり、人格的な愛であると言えるわけです。御父と御子と聖霊という三つの

方相互に愛し合つておられるとは、お互いに与え合い、また、受け入れ合うということ。御父と御子と聖霊の愛は、完全ですので、父と子と聖霊は完全に与え合い、完全に受け入れ合つておられる結果として、一体になつておられるわけです。

確かに、私たちはいくら探しても、この世の中でこのような完全な愛を見つけ出すことができません。けれども、心の中でこのような愛を求めていきますし、このような愛だけが私たちの心を満たすことができるのです。なぜなら、私たちは、完全な愛の交わりである三位一体の神に象つて、また、この愛の交わりにあずかるために創造された存在であるからです。神が人間を愛しておられるとは、人間にご自分を与えたいということ、また、人間を受け入れることを求めておられるというこ

となのです。つまり、神が私たちを愛しておられるからこそ、私たち一人ひとりをご自分との愛の交わりに招いてくださるわけです。

幸いに、私たちはこの愛の交わりに招かれておられるだけでなく、イエスが成し遂げてくださった救いのわざによつて、この招きに応えることも、神の愛の交わりに参与することも可能になったのです。実は、御父と御子が五旬祭の日に遣わしてくださった聖霊を受けることによつて、弟子たちは神の愛と命を受け入れて、神との愛の交わりに生きるようになったのです。この時以来、聖霊は、弟子たちの中で働いて、彼らを三位一体の神との完全な交わり、つまり神との一致に導いてくださったのです。聖霊は、今でも働いておられるのです。

人間を神との愛の交わりに導いて、神との一致を実現させるために聖霊は、信仰の恵みを与えてくださり(1コリ2・11・12・3)、神に近づくの妨げとなるものを示してくださり(ヨハ16・8)、神の愛と命にあずか

人間を神の子にしてくださいませ(ロマ5・5・2コリ13・13・ロマ8・15)。要するに、罪によつて死んでいたか、傷ついていた人間を「主と同じ姿に造りかえられて」(2コリ3・18)、「罪のためにそうではなくなつていたのに、再び神に似た者とされるのです。」(カトリック教会のカテキズム734)

ラオディセアの聖イグナチオスは、聖霊について書いた言葉は、聖霊の働きとその重要性をきれいに描いています。「聖霊がいなければ、神は遠い存在であり、キリストは過去のものの福音書は死んだ文字、教会は普通の組織、福音を宣べ伝えるのはプロパガンダ、典礼はただの劇、掟に従つて生きることには奴隷の道徳であつたでしょう。けれども、聖霊の力によつて、神は近い存在であり、復活したキリストはいつも共にいてくださる方、福音書は命の源、教会は生きていく共同体、典礼は神と出会う場、掟に従つて生きることとは真の幸福となつていくことなのです。それらすべてを聖霊が教会において実現するもので

す。」

第7回運営委員会

2013年6月2日

報告事項

5月12日南山教会にて

マリア会より2、3名参加…

配膳のお手伝いをした。多国籍料理の量の多さに驚いたが、1時間も経たないうちに料理もなくなってしまう、盛況のうちに終わった。

家田氏からお礼があった。

教会美化

コーヒーショップは、これから教会美化の日はお休みし、皆で美化奉仕をした後はB B Qを楽しんでいただきたい。

納骨堂申し込み状況と建設に向けた進捗状況

5月29日付で建築工事請負契約締結。請負代金額…

105,273,000円

起工式…5月30日10時、約30名出席

多数の重機を導入予定。大きい木はなるべく切らない方向で進めるが、根の状態による。マリア館側の斜面は手を付けない。

申し込み状況…210名以上。最近の申込みのほとんどは他教会から。

6月の教区ニュースで掲載されるので、今後また増える見込み。

工事会社の仮設事務所をマリア館横の空き地に設置し、9台分の駐車場も減少。

南山教会の信徒3名から合計80万円のご寄附があった。

城東ブロック会議

5月19日14時より平針教会で開催された。議長教会は膳棚教会。内容は行事予定と予算案の作成。例年通り。

次は7月21日南山教会で開催。

5月26日11時～14時わだち祭りが恵方町教会で開催された。

トータル約95万円の純利益。内5万円は南山教会から。

南山教会は2日かけて、寄付物品の仕分け、値付けを実施。

いなり寿司を1,056個販売。トータルで52,500円の売り上げ。

南山教会で300パック、恵方町教会では50パックを販売。

マリア会が当日朝、30数名で2時間をかけて全て作り上げた。

審議事項

今年度バザーについて

正副委員長名の発表と今後のスケジュールの確認など

委員長…ヨセフ会1班小塚さん

副委員長…ヨセフ会2班松田さん

月1回程度集まり、初回は7月の運営委員会報告していた。

典礼奉仕者全体集会

6月16日開催予定。カトリック南山教会典礼奉仕者会全体集会次第案について説明があった。

信徒全体集会

6月30日開催予定。現時点でご要望・ご意見がないので、引き続き募集する。

当日の次第について、誰が担当かを確認。司会進行は副委員長。

救急法講習会

7月28日開催予定

7月9日からお知らせに募集要項を記載する。

日赤に講師を2人依頼済み。(参加者30人につき講師1人)

資料・マスクは1セット2百円

平和の祈り

開催は例年通り
8月6日(火) 8時からミサ

をささげる。

8月9日(金) 10時から通常ミサと聖体賛美式、ミサに平和の祈りを捧げる。

南山教会から城東ブロックの他教会へ発信する。

各会報告

マリア会

5月26日(日)のわだち祭りでいなり寿司1パック3ヶ入り(150円)を350パック提供した。

5月10日(金)のマリア会例会の東日本大震災支援バザーでは、51,310円の収益があった。

典礼委員会

5月12日 9時半ミサ中マリア祭

インターナショナルミサでご奉仕(14時)

5月19日 聖霊降臨の主日

日英合同ミサをアンジェラスで。

6月2日 初聖体

6月9日 典礼委員会

6月16日 典礼奉仕者の全体集会

ボーイスカウト
来週6月9日(日)スカウトバザー開催。ご自由にご参加下さい

さい。スカウトバザー商品のご
寄付お礼申し上げます。

7月中旬夏の水泳訓練を南知
多内海で行う。参加予定者40
名。

8月11日～13日夏山のキャン
プを長野県松川青年の家で行
う。参加予定者30名。

次回は7月7日

7月掲示板当番はポイスカウト

5月19日 教会美化とBBQ

教会美化とBBQの概要は以
下のとおり。

①、参加者…およそ60名
自分たちの教会美化に参加すべ
く、8時のごミサ終了後から
美化活動が始まり9時半のご
ミサが終わった後、ボクダン
神父様、アントニー神父様が
先頭に立ち、多くの方々の参
加を見た。今回は、子供用の
軍手の用意があり、子供も大
人並みに一生懸命美化活動に
参加していた。

②、集まった枯れ枝、枯葉等…
事前に有志が枝を払い、草を
刈り取って下さっていたおかげ
で、沢山のごみ袋に集積す
ることができた。枯れ枝は、
司祭館横に集積した。集まっ

た草や枯葉の類の入った袋は
66袋に達した。

③、BBQ（バーベキュー）…
美化活動の後、全体でBBQ
を楽しむのは今回が初めて
で、下ごしらえをマリア会の
皆さんにお願いし、和気あい
あいと楽しい分かち合いの時
間を持った。中でも、カツオ
のたたきは、大好評で、あっ
という間に売り切れた。いろ
いろなたレントを持つている
方がいることを認識した。

④、感想…マリア会の皆さん
は、3週間種々の活動が続く
ようで、お疲れ様でした。BBQ
のような分かち合いも良
いものだと実感した。

⑤、参加した方…お疲れ様でし
た。
参加しなかった人…次回は
一緒に楽しみましょう。

スカウトバザー

日時…六月九日（日）
午前10時～午後2時

場所…カトリック南山教会

内容…模擬店 喫茶 委託品

缶詰 手芸品 掘出市 等

名古屋第97団



教会美化 5月19日(日)



教会美化後のバーベキュー



南山句会

平成二十五年五月八日



満天星の咲き初む朝や聖書読む

せつ子が

散歩道髪に背中に花吹雪

瑞子

一人居の気儘が嬉し風光る

牧子

たんぽぽになごむ散歩となりけり

とく子

泣く子にと子象の視線花は葉に

紀子

新緑や母と連れ立つ飛驒の里

眞喜子

諸葛葉コップに飾る朝の膳

美智子

藤回廊パウロの書簡読み終へて

義子

黄金の珠の房なすミモザかな

洋子

毎月第一水曜日午後一時半

マリア館二階集會室

信者の消息

転入

ようこそ

ヨハナ・フランスカ 卯田良枝 (草津教会)
 シェアラ 京山秀人 (ビセント教会)

転出

いつまでもお元気で

マリア・ガラチア 加藤亜希子 (麴町教会)
 ラファエラ 岡本久江 (布池教会)

※5月号での転出の方の霊名の訂正
 マリア・クララ 永田 恭子
 マリア・フランチェスカ 永田 恵理子

結婚

♡ お幸せに ♡

フランスカTHAI VAN BAC ♡ アンナTRAN THI HOAN
 (南山教会)

受洗

おめでとうございます

ヨハネ 芳賀 正
 Giuse PHAM LE HOANG LONG
 Giuse NGUYEN LUONG NGHIEM
 アジジのフランスカ THAI VAN BAC

教会維持費

5月は1,548,461円の維持費が納められました。有難うございました。

教会の維持・運営・宣教活動は、教会信者全員が毎月納める維持費によってまかなわれますので、よろしくお願ひします。

2013年6月・7月行事予定表

| | 教会典礼歴 | 南山教会行事 | 各会活動 | 教区行事・その他 |
|----|------------------------------------------------------------------------|---------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------|-------------------------------------------|
| 6月 | 聖心の月 2(日)キリストの聖体 7(金)イエスのみ心 23(日)聖ペトロ・パウロ使徒 24(月)洗者聖ヨハネの誕生 | 2(日)初聖体/子どものミサ 教会学校パーティ 13(木)アントニー師霊名の祝日 16(日)典礼奉仕者全体集会 30(日)信者全体集会 | 2(日)運営委員会 7(金)マリア会例会(懇談会) 9(日)典礼委員会 9(日)スカウトバザー 15(土)10:30子ども部屋 16(日)ヨセフ会班長会 22(土)要約筆記付きミサ 23(日)教会学校潮干狩り | 20(木)司祭評議会 23(土)聖ペトロ聖座への献金 |
| 7月 | | 28日(日)救急講習会 | 5(金)マリア会例会(懇談会) 7(日)運営委員会 14(日)典礼委員会 14(日)ヨセフ会班長会 20(土)10:30子ども部屋 21(日)教会学校・中高生会終業式 27(土)要約筆記付きミサ | 7(日)司教叙階・金銀祝 18(木)司祭協議会 21(日)障害者の集い |